

令和4年7月20日

保護者 各位

久喜市立栗橋南小学校
校長 小暮 恵子

鼓笛隊の「新たな鼓笛隊の形・セッションクラブ」への変更について

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本校では、2年にわたり、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の通知等をふまえ、楽器演奏の中止、もしくは感染対策を講じた上でという制限を繰り返してきました。鼓笛隊の活動につきましては、音楽の授業の確実な実施を最優先とし、感染対策を講じての休み時間の練習は難しいと判断し、控えておりました。昨年度の学年末PTA授業参観全体会でも「鼓笛の新たな形を探っている」旨をお伝えしてきたところです。

現在、本校は閉鎖であった学年や学級も再開し学期末を迎えたところではありますが、今後の感染状況は不透明であり、「感染症対策を講じての練習の場の確保」は引き続き難しい状況であると考えます。また、児童の鼓笛隊についての実態アンケートや「授業以外（休み時間）の練習の負担」をふまえると、令和元年以前のような5・6年生全員が一斉、一律に鼓笛隊に取り組むことは困難であると判断しました。

しかしながら一方では、授業では触れることがない楽器や楽曲からなる鼓笛隊のよさや、音楽好きな児童の活躍の場への思いが残り、どのような形であれば続けられるか、持続可能な形を学校運営協議会において熟議を重ねてきたところです。

そのような中、このたび、放課後子ども教室「ゆうゆうプラザ」や保護者等学校応援団の地域の方々のお力添えをいただける運びとなりました。まさに今求められる「子供が主体」「開かれた学校」「地域の子どもたち」をキーワードとした、今できる児童にとって最善の形が「新たな鼓笛隊の形・セッションクラブ」であるととらえております。

つきましては、今後は下記により進めて参りますので、保護者の皆様の御理解・御協力をお願い致します。

記

1 変更の概要

- これまでの鼓笛隊から「新たな鼓笛隊の形」とする。名称を「セッションクラブ」に変更する。

